

アプリケーション概要

Adobe Experience Manager

最先端のデジタルエクスペリエンス管理ソリューション



Adobe Experience Managerは、中規模から大規模の企業に最適な業界最先端のデジタルエクスペリエンス管理ソリューションです。先進的で拡張性の高いデジタル基盤を活用して魅力的な顧客体験を提供することにより、ブランドエンゲージメントを促進して需要を喚起し、顧客のロイヤルティを向上させることができます。Adobe Experience Managerには、あらゆるチャネルにおいてデジタルエクスペリエンスを創出、管理、提供するためのツールが揃っています。

主要機能：

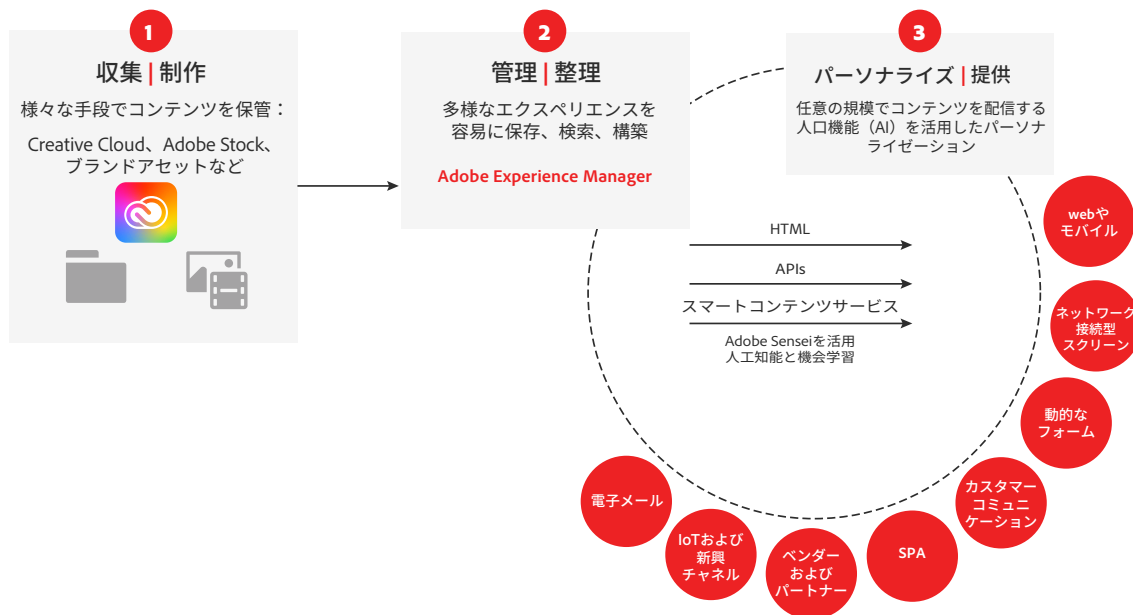
- ＞ デジタルアセット管理とリッチなメディア配信
- ＞ webとモバイルにおけるエクスペリエンスの管理および分析とパーソナライゼーション
- ＞ モバイル、SPA、IoT向けのコンテンツサービスと、拡張可能なAPI
- ＞ デジタル登録手続きとカスタマーコミュニケーション
- ＞ 実店舗内のスクリーン
- ＞ クラウドの俊敏性と拡張性
- ＞ デジタル変革を推進する強力なエコシステム

Adobe Experience Managerは、マーケティング、ビジネス、ITのニーズに即した、使いやすくカスタマイズ自在なツールを提供し、リッチなコンテンツとブランディング、webやモバイルサイト、シングルページアプリケーション (SPA)、モノのインターネット (IoT)、デジタルフォーム、カスタマーコミュニケーションなどを容易に管理し、グローバルに分散する組織のニーズに応えます。また、IT部門を支援するための、オープンな技術標準やAPI、共有コアサービス、コンテンツサービスにより、あらゆるチャネルをまたぐ一元的な統合コンテンツ管理基盤を実現します。

Adobe Experience Managerを利用すると、俊敏性や拡張性など、クラウドのメリットを活かして、顧客の期待を上回ることができます。

Adobe Experience Managerの主要機能はモジュール形式で構成されているため、グローバルwebサイトのような特定の目的に迅速にフォーカスして、ブランドエンゲージメントを促進し、顧客サービスを向上させ、ビジネス全体を加速できます。このアプリケーションは、顧客体験中心のコマース戦略から、webやモバイル、印刷物、SPA、IoTアプリケーション、店舗内のスクリーンなどをまたぐオムニチャネルな顧客体験への取り組みまで、拡大し続ける顧客の期待に合わせて拡張可能です。





Adobe Experience Managerを使用すれば、オンラインや実店舗を含むカスタマージャーニー全体をまたいで一貫性のある魅力的な顧客体験を提供し、エンゲージメントを向上させ、需要を喚起できます。

デジタルアセット管理と リッチなメディア配信

Adobe Experience Manager Assetsは、人工知能を活用して、デジタルアセット管理と動的な配信を実現する、拡張性に優れた、カスタマイズ可能なクラウドネイティブのアプリケーションです。アセットの生成、管理、配信、最適化を大規模におこなうことができます。

主な特長：

画像、動画、3Dアセットなどを作成、管理、配信—グローバルに統合された集中管理アセットリポジトリにデジタルアセットを一括アップロードすると、マーケター、クリエイター、世界各地の事業部門が利用できるようになります。アセット用マイクロサービスを活用することで、アセットの一括取得やレンディション生成など、CPUに大きな負荷をかける複雑なプロセスが、自動化された容易なワークフローに変わります。Adobe Senseiを活用した検索ファセット、タグ、高度なメタデータの管理、検

索キーワードのリアルタイム翻訳、画像認識テクノロジーにより、アセットが探しやすくなります。グローバルなクラウド基盤を活用して、表現力豊かなビジュアルエクスペリエンスをあらゆるデバイスに配信できるよう最適化します。

Adobe Creative CloudからAdobe Experience Managerのデジタルアセットにネイティブにアクセス—Adobe Asset Linkにより、クリエイターはデジタルアセット管理 (DAM) システムに保管されているデジタルアセットを検索して容易に再利用できます。Creative Cloudのエンタープライズシングルサインオンを利用すると、Adobe Photoshop、Illustrator、InDesignなどのアプリから直接アセットにアクセスできます。

アセットを効率的に共有、調達、配信—ビジネスユーザー、パートナー、再販売業者は、自動メディアポータルソリューションであるBrand Portalを利用して、アセットの検索やダウンロード、DAMシステムへのコンテンツのアップロードをおこなうことができます。また、Brand Portalは、高速なダウンロード機能と動的レンディション生成機

能を備えています。さらに、Adobe Experience Manager Sitesの開発者は、Connected Assetsを使って、Adobe Experience Manager Assetsを基盤に構築された別のDAMシステム内にあるアセットに直接アクセスできます。

ダイナミックメディアを変換し提供—画像や動画、キャンペーンバナー、混合メディアなどのマスターアセットを適切に組み合わせて公開、変換し、インタラクティブな顧客体験を提供して、エンゲージメントやコンバージョン率を向上できます。Adobe Senseiを活用したスマート切り抜き機能を使うと、退屈な手作業を減らし、画像や動画の重要な部分を自動的に切り抜いてから任意のデバイスに配信することができます。

アセット分析でROIを把握—クリックスルー率やインプレッションをあらゆるデジタルチャネルをまたいで測定し、アセットの利用状況やパフォーマンスを追跡します。直観的な統合型ダッシュボードによりパフォーマンスをコンバージョンやROIに直接関連付けます。

Adobe Experience Manager Assetsの詳細：

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/assets/aem-assets.html



Adobe Experience Manager Assetsの利用者は、3年間でROIが366%に達したと回答しています。

「The Business Value of Adobe Experience Manager Assets」(2017年)、IDCのホワイトペーパー



Adobe Experience Manager Assetsはデジタルアセット管理を提供します。

webとモバイルにおけるエクスペリエンスの管理

webサイトは、カスタマージャーニーのあらゆる段階で顧客がブランドに関する情報を入手し、ブランドとやり取りする主要なチャネルです。今日のwebコンテンツ管理 (WCM) アプリケーションに求められている機能は、複数の作成者によるコンテンツの追加と更新、あらゆるデバイスやスクリーンに対応できるコンテンツの作成と、あらゆるホストアプリケーションにおける再利用を容易にすることです。また、ブランドの認知から購入、サポートに至る一連のカスタマージャーニー全体を通じて、魅力的な顧客体験を提供できることが重要であり、さらに、ブランドのガイドラインやセキュリティ要件を遵守しつつ、企業の成長やサイト数の増加に合わせて柔軟に拡張できる仕組みが必要です。

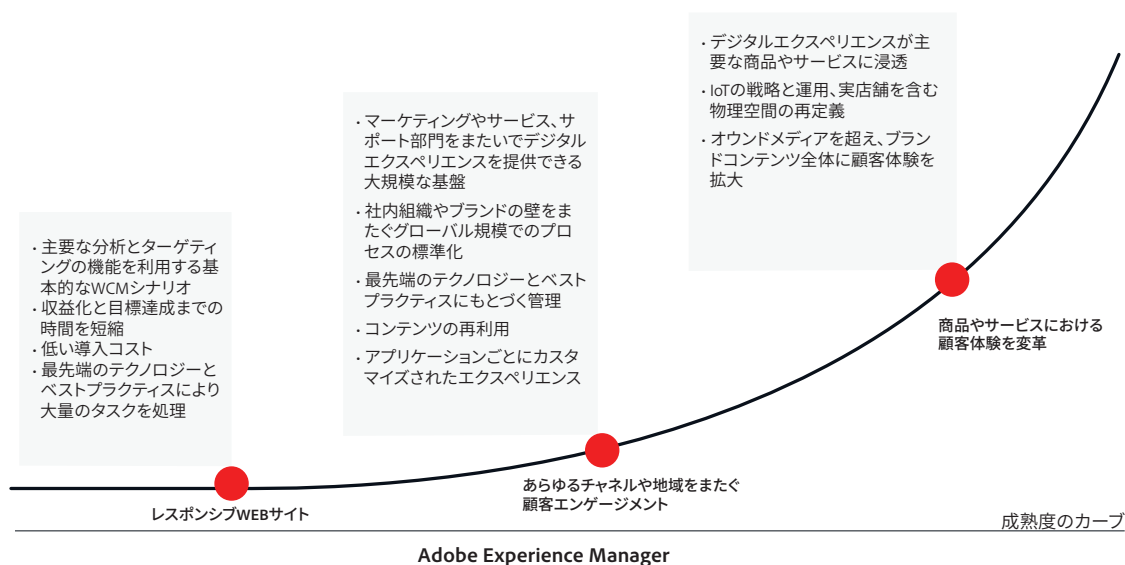
Adobe Experience Manager Sitesなら、中規模から大規模な企業は次のような機能によって競争力を強化できます。

レスポンシブwebサイトを容易にオーサリング—先進的なユーザーインターフェイスを通じてレスポンシブデザインのオーサリングを可能にし、検索エンジン向けにコンテンツを最適化して、コンテキストに

即したコンテンツのローカライズと配信を支援します。XMLのサポートにより技術文書のオーサリングも可能です。

モバイルコンテンツ管理をサポート—レスポンシブサイトの構築に加え、モバイルデバイスごとに最適なレイアウト、デザイン、コンテンツのバリエーションが用意されています。モバイルwebサイト全体で再利用できるエクスペリエンスフラグメントを活用し、コンテンツサービスAPIを使用してコンテンツフラグメントをヘッドレス形式でモバイルアプリケーションに配信できます。

分析とパーソナライゼーションの基盤—1st、2ndパーティのデータソースによって補強された統合顧客プロフィール、再利用できるエクスペリエンスフラグメント、クラス最高のパーソナライゼーションおよび最適化エンジンを活用して、コンテキストに即したエクスペリエンスを動的に提供できます。また、コンテンツインサイトやActivity Mapを使用して、サイトオーサリングの様々な場面で施策改善に直結する意思決定を可能にします。



デジタルエクスペリエンスの戦略を構築—レスポンシブwebサイトから、ビジネス全体のデジタル変革へ

グローバル規模での管理—世界の異なる地域に存在する数十、数百、数千のサイトを管理し、言語、地域、顧客セグメントに即して顧客体験をパーソナライズできます。また、統合コンテンツライブラリを利用して、デザインの一貫性とブランドアイデンティティを効率的に維持できます。クラウドベースでエンタープライズグレードの高度なセキュリティにより、投資の保護も万全です。



実際に価値が生み出されるまでの時間を短縮—すぐ制作に利用できるコンポーネントを活用し、迅速に運用を開始して、開発に要するコストと時間を大幅に削減できます。バックエンドのコーディングなしで、コンポーネントの視覚的なバリエーションを容易に作成することが可能です。アーキタイプを起点として活用することで、プロジェクトを迅速に立ち上げることができます。また、標準のデータレイヤー、自動プロビジョニング、すぐに利用できるレポートツールにより、エクスペリエンスの測定やパーソナライズにかかる時間が短縮されます。

Adobe Experience Manager Sitesの詳細:

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/sites/web-content-management.html



Adobe Experience Manager Sitesの利用者は、3年間でROIが348%に達したと回答しています。

IDCによるビジネス価値に関する調査 (2018年2月)

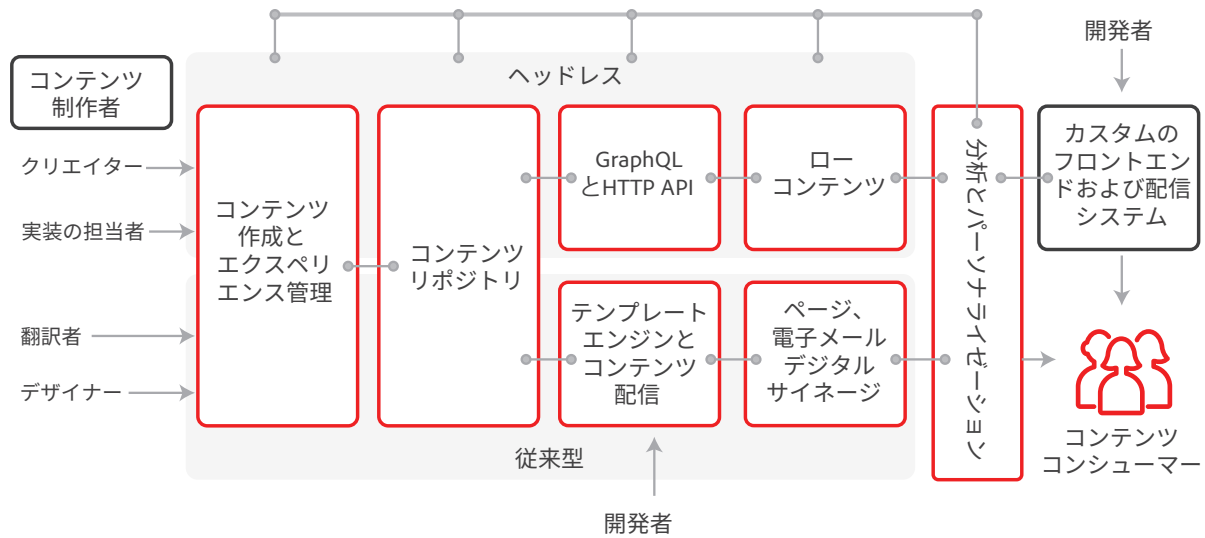
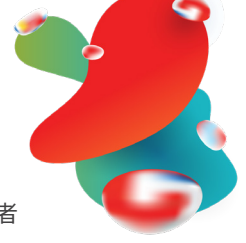
モバイルやIoTアプリケーション向けのコンテンツサービスから、さらにその先へ

今日のモバイルデバイスをはるかに凌ぐ、デジタルデバイスの爆発的な増加にともない、新しいデジタルエクスペリエンスが次々に生まれ、企業はさらに多くの顧客体験をデザインする必要に迫られます。Adobe Experience Manager Sitesは、従来のwebとヘッドレス配信をサポートする最先端のハイブリッド型コンテンツ管理システム (CMS) です。カスタマージャーニー全体をまたいで一貫性を保ち、迅速に適応できるパーソナライズされたコンテンツを、顧客が期待する接点で大規模に提供できます。

主な機能は以下の通りです。

コンテンツフラグメントとエクスペリエンスフラグメント—テキスト、アセット、そのレイアウトやレンディションの組み合わせを、あらゆるスクリーンとデバイスをまたいで定義できます。コンテンツとエクスペリエンスフラグメントの用途をチャンネルごとに柔軟に変更して重複を避け、一貫性を維持し、俊敏性を高めます。

コンテンツサービス—カスタマイズ可能なコンテンツモデルを定義するツールに加え、コンテンツをAdobe Experience Managerに保存して、あらゆるクライアントからJSONエンドポイントを通じて利用できるツールを提供します。その柔軟性を活かし、顧客体験を構成するコンテンツを包括的に管理しながら、最新のwebアプリ、モバイルアプリケーション、IoTアプリケーションを強化します。視覚的コンテンツだけでなく、Amazon EchoやGoogle Homeなどの音声チャンネルにオーディオコンテンツを配信できます。



Adobe Experience Managerが生み出す柔軟なエクスペリエンスにより、大量のコンテンツを的確に管理、パーソナライズし、あらゆるチャネルをまたいで提供できます。

SPA編集—IT担当者はReactやAngularなど、使い慣れたフロントエンド開発フレームワークを使用してSPAを構築できます。一方、マーケターはSPA上でコンテキストに即したコンテンツの編集、レビューおよび翻訳を実施できます。サーバーサイドレンダリングにより、最初のページの読み込み時間を短縮し、SEOを向上させます。

人工知能 (AI)—Adobe Senseiが提供する人工知能を活用して、オムニチャネルの顧客体験を容易に構築できます。これにより、あらゆるチャネルでコンテンツを美しく表示できます。例えば、サイズの異なる様々なスクリーンに合わせて記事や段落の長さを変更できます。Smart Layoutは、最も顧客の関心と呼びそうなコンテンツが上部に来るようにページのレイアウトを変更し、次善のエクスペリエンスへのコンバージョンを向上させます。

デジタル登録手続きとカスタマーコミュニケーション

金融機関、ヘルスケア、公共機関など規制の厳しい業界では、住宅ローンや給付金の申請など、付加価値が高く複雑な取引を必要とする場面が多く、フォームやドキュメントは顧客体験の重要な部分を占めています。

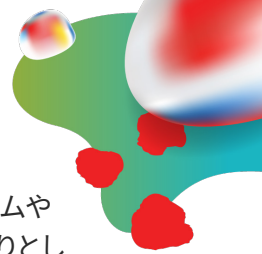
Adobe Experience Manager Formsは、申請の手続きや提出書類の処理を効率化し、あらゆるデバイスやチャネルをまたいでコミュニケーションをパーソナライズすることにより、コンバージョンや定着率を向上させます。

Adobe Experience Manager Formsのデジタルフォームとカスタマーコミュニケーションの管理機能を使用すれば、次のことが可能になります。



Adobe Experience Manager Formsの利用者は、3年間でROIが379%に達したと回答しています。

「The Business Value of Adobe Experience Manager Forms」(2018年)、IDCのホワイトペーパー



顧客が利用しやすく、インタラクティブなフォームをオーサリング—使いやすいツールとテンプレートを利用してフォームを一度オーサリングするだけで、米国リハビリテーション法第508条のアクセシビリティ基準に準拠しながら、様々なデバイスやチャネル、紙を含むあらゆるフォーマットにフォームを提供できます。また、フォームへの入力方法を案内したり基幹システムとの設定可能なデータ接続を介して一部の項目に自動入力するといった動的な動作を組み込むことも可能です。Adobe Signとのネイティブ統合により、コンプライアンスに準拠した電子サインを追加します。

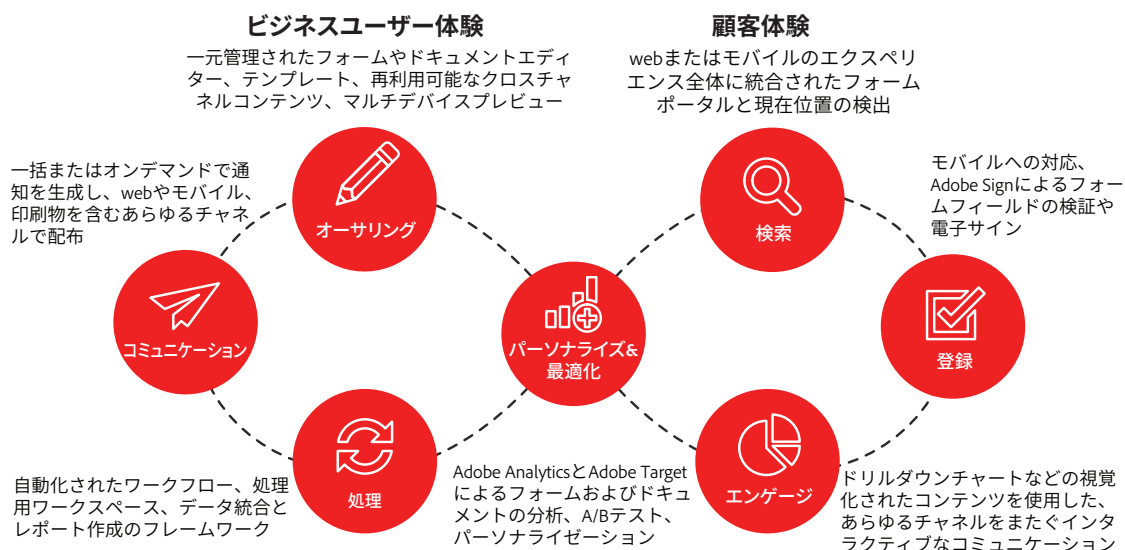
カスタマーコミュニケーションのパーソナライズと効率化—パーソナライズされたマルチチャネルコミュニケーションを創出し、webと紙の双方のチャネルでエンゲージメントとアップセルおよびクロスセルを推進します。スケジュールにもとづいて、バッチまたはオンデマンドで通知を配信し、チャネルをまたいでインタラクティブなドリルダウンチャートを埋め込みます。

一貫性のあるタイムリーな対応—業務システムやビジネスルール、人材などにつながる、しっかりとしたワークフローエンジンが、フォームデータを確実に処理し、組織の迅速な行動を支援します。また、webサービスとの連携により、決済を含む様々な機能を高度なセキュリティとともに提供できます。

フラグメントベースのオーサリング—連のフィールドグループや自動入力済みのデータフィールドを含むフラグメントを作成し、様々なフォームやドキュメントで再利用できます。共通するコンポーネントやテンプレートを再利用して、新規のフォームやドキュメントを作成することも可能です。

フォームの自動変換—Adobe Senseiを利用して、従来のPDFやXDPファイルをあらゆるモバイルデバイスに対応できるレスポンスフォームに自動的にすばやく変換できます。

Adobe Experience Manager Formsの詳細：
business.adobe.com/jp/products/experience-manager/forms/aem-forms.html



Adobe Experience Manager Formsを利用すると、モバイル対応のレスポンスフォームやパーソナライズされたカスタマーコミュニケーションを大規模に構築、管理できます。

実店舗内のスクリーン

競争力の向上に努める企業は、店舗や会場にあるスクリーンを通じて、顧客に喜びと驚きに満ちた魅力的なエクスペリエンスを提供し、店舗内のエンゲージメントを強化しています。実店舗内に設置したデジタルスクリーンを活用して、オンラインでのエンゲージメントとオフラインのエクスペリエンスを連動させます。店舗内エクスペリエンスの向上は、売上の向上につながります。

Adobe Experience Manager Screensなら、マーケターや店舗の管理者はwebやモバイル向けに使用しているのと同じ基盤を使用して、インタラクティブなキオスク端末からデジタルサイネージに至るまで、あらゆるデジタルディスプレイのエクスペリエンスをデザイン、配信、最適化できます。

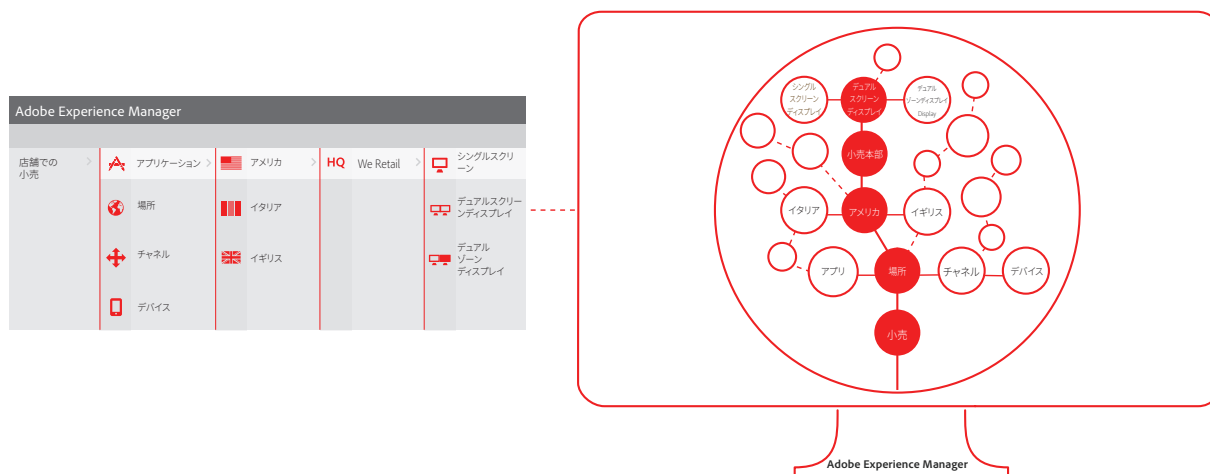
デザイン—クロスチャネルオーサリングUI、SPAエディター、承認ワークフロー、web全体で共有されるアセットの一元管理、デジタルサイネージなどを使用してエクスペリエンスを構築できます。

提供とスケジュールの設定—サイネージネットワークを介してデバイスやプレイリスト、コンテンツを確実に一元管理できます。

最適化—データによってトリガーされるコンテンツを使用してエクスペリエンスをパーソナライズし、Adobe Analyticsとの統合によって使用状況を把握できます。

Adobe Experience Manager Screensの詳細:

business.adobe.com/jp/products/experience-manager/screens.html



Adobe Experience Manager Screensなら、実店舗のデジタルサイネージネットワークを通じて、パーソナライズされたエクスペリエンスを容易に提供できます。

クラウドの俊敏性と拡張性

中規模から大規模な企業は、Adobe Experience Managerを利用すると、クラウドのメリットを活かして、顧客の期待を上回ることができます。市場投入までの時間を短縮できる俊敏性と、企業特有のビジネス要件を満たすのに必要な柔軟性と拡張性が手に入ります。

主な特長：

最新機能をすぐに利用可能—製品の機能を効率的かつ容易にアップデートできます。そのため、サービスの中断を最小限に抑えたまま、最新機能をすぐに利用することができます。

高可用性とパフォーマンスの高い回復力—組み込みの冗長性とプロアクティブなモニタリング機能により、クラウドの予期しないサービス停止に対する堅牢な保護を実現し、ミッションクリティカルなサービスレベルの可用性を確保します。

広範なセキュリティとコンプライアンス—ISO 27001、SOC 2、業界固有の規制など、アドビがサポートする証明書ベースのセキュリティ規則でセキュリティ脅威によるリスクを最小限に抑えます。

ビジネスニーズの変化に応える拡張性—トラフィックをもとにキャパシティのニーズを絶えず監視し、常にパフォーマンスが最適化されるよう自動的に拡張します。

市場投入までの時間を短縮—拡張性に優れ、フルに設定可能な専用のCI/CDパイプラインであるCloud Managerを活用すると、機能テストや負荷テストを自動化し、アイデアの具現化と実稼動システムの立ち上げをすばやく反復できます。

開発者の生産性を向上—アドビのエンジニアリングベストプラクティスにもとづいた自動コード検査、テスト、セキュリティ検証などにより、品質を犠牲にすることなくリリースまでの時間を短縮できます。

APIとの連携—既存のシステムや外部の通知チャンネルを補完します。



デジタル変革を推進する強力なエコシステムを備えた統合アプリケーション

Adobe Experience Managerは、より包括的なAdobe Experience Cloudの一部です。Adobe Experience Cloudに含まれる各アプリケーションをまたいで、データ、インサイト、コンテキスト、プロフィールを共有できます。これにより、価値創出までの時間を短縮し、統合されたマーケティング施策を実現できます。主な機能は次のとおりです。

- webやモバイル、電子メール、ソーシャルメディア、SMSなど、あらゆるチャネルをまたいでパーソナライズされたエクスペリエンスを提供できる、Adobe Target／Adobe Campaignとのネイティブな接続
- 統合プロフィール、高度なセグメンテーション、予測分析などを備え、リッチな1stパーティおよび3rdパーティの顧客データへのアクセスを可能にする、Adobe Analyticsとのネイティブな接続
- API、ライブラリ、関連ドキュメントを提供し、Adobe Experience Managerをあらゆる3rdパーティアプリケーションと接続するAdobe I/O

また、Adobe Experience Managerでは、導入パートナーや開発者ユーザーグループ、包括的なデジタルマーケティングリソースから成る巨大なエコシステムも利用でき、デジタル変革の目標を速やかに達成できます。



サービス

600社を超える
導入認定
パートナー



コミュニティ

ガイド付きの
セルフサービス
ラーニング、
コミュニティ、
エキスパートと
つながる機会をもたらす
Experience League



デジタル基盤の ブループリント

開発者重視のツール、
トレーニング、および
成功主導の
ベストプラクティスで
価値創生にかかる
時間を短縮



スキル

アドビデジタル
ラーニングサービス、
トレーニングおよび
認定



ガイダンス

アドビコンサルティング
サービスによって提供
される、
デジタル成熟度評価と
成功を支援する
模範的ガイダンス

Adobe Experience Managerの概要

Adobe Experience Managerなら、マーケターや開発者がweb、モバイル、ソーシャル、動画、店舗、SPA、モノのインターネット (IoT) など、あらゆるチャネルの枠を超えて顧客を魅了するデジタル体験を構築、管理、配信できます。このアプリケーションで管理できるデジタルエクスペリエンスは、webやモバイル、デジタルアセット管理、フォーム、コミュニケーションなど、多岐にわたります。また、アドビの他のアプリケーションと統合することにより、データインサイトを活用して特定のセグメントに狙いを定めたコンテンツを届け、コンテンツをパーソナライズされた魅力的な顧客体験へと昇華させ、顧客エンゲージメント、リードの創出、収益の最大化を可能にします。

詳細情報

www.adobe.com/go/aem_jp



Adobe, the Adobe logo, Adobe Experience Cloud, the Adobe Experience Cloud logo, Adobe Sensei, Creative Cloud, Illustrator, InDesign, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2021 Adobe. All rights reserved.